

ひるまだより

2006.5 vol.9



< 今月の花 * ガクアジサイ >



医療法人
ひるま矯正歯科
Hiruma Orthodontic Office

【ひるま矯正歯科】立川市曙町2-9-1 菊屋ビルディング2F
TEL:042-526-3376 URL:http://www.hiruma.or.jp/

雨に咲く花

紫陽花（あじさい）は、花の色が白から青紫色、紅紫色と変わるので、俗に「七変化」ともいわれます。

そのためか、花言葉は移り気、心変わり、辛抱強い愛情、冷淡、自慢家（英）など評価はいまいちですが、雨の降る中で咲く紫陽花には独特の風情があって、しばし梅雨時の鬱陶しさを忘れさせてくれます。

今月の花はわが家のガクアジサイです。

トビックスから 口臭予防

その1

口臭は大きく真性口臭症、仮性口臭症、口臭恐怖症の3つに分類され、この中で実際に口臭があるケースが真性口臭症と診断され、これは社会的容認限度を超える明らかな口臭の存在と定義されている。真性口臭症は、さらに治療すべき原疾患の存在がなく口腔清掃指導で改善される生理的口臭と、治療すべき原因が存在する病的口臭に分けられ、それには口腔由来のもの全身由来のものがある。

口腔由来の口臭の原因は、舌苔内の常

(Dental Tribune 2006.1

ヒルマトキオの ホッとひと息

日本歯科医師会が<6=む><4=し>と読ませて、6月4日を「虫歯予防デー」としたのは1928年。戦後これを復活させる形で「口腔衛生週間」が制定され、変遷を経て現在の「歯の衛生週間 6/4～6/10」の呼び名になりました。つまり、現在「虫歯予防デー」という日はないというのはご存知でしたか。

毎年この週は、歯科医師会全員が街に出て歯科健診をしますが、健診のたびに持論の「口の中から家庭が見える」を実感します。ある時、3歳の子を診たとき「お母さん、煙草を吸いますね」といったら、母親はびっくりしていました。3歳児にあるまじき鼻毛が伸びていたので分かったのですが、歯科健診は、虫歯の数を数えているだけではないのです。東京都が、児童虐待の発見協力を歯科医師会に求めた理由もここにあります。

在菌により産生された揮発性の硫黄化合物（VSC）で、口臭は舌苔の量に比例し、また日内変動があることが知られている。歯周病は、病的口臭の原因として最もよく知られる口腔感染症であるが、この場合の口臭も多くの舌苔が発生源で、従来考えられていたような歯周ポケット由来の口臭は少ない。すなわち歯周病により口腔全体の環境が変化し、それに伴いVSCが発生し口臭となる。（次号に続く）
鶴見大学歯学部口腔細菌学教室教授・前田伸子

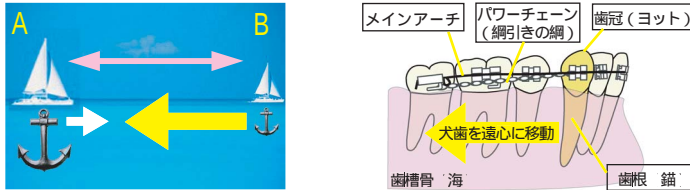
トキメタリ・矯正治療 「アンカレッジコントロール」

昨年一月から治療を開始した当院スタッフの治療の様子を経過とともに解説入りで掲載。詳細はHPで

アンカレッジコントロールとは歯を移動する際に用いるアンカーの強さをコントロールし、目的の歯を目的の位置に移動する方法です。

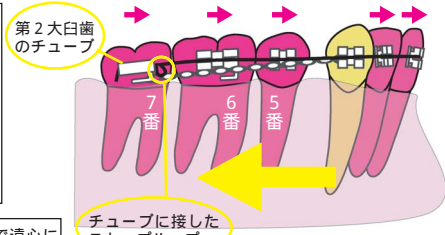
～アンカレッジコントロールとは その1～

海に浮かんだAとBの船がロープで綱引きをしているのを例にご説明します。左図。この2艘が同じ重さで両方とも錨を下ろす事なく同じ力で引っ張り合った場合、お互いが同じ距離だけ近づきます。しかし、Aのイカリや船を重くしたり大きくすれば、BはAに引き寄せられます。この様に、イカリや船の重さ「アンカー」をコントロールする事によってAとBの位置関係をコントロールする、これがアンカレッジコントロールの基本的な考え方です。歯に置き換えると右図ようになります。



～アンカレッジコントロールとは その2～

1. メインアーチが無い状態で、一番後方にある第2大臼歯「7番」から犬歯 黄色の歯にパワーチェーンをかけるとアンカーは第2小臼歯（5番）、第1大臼歯（6番）、第2大臼歯（7番）の3本となり、犬歯アンカーの3倍になります。



2. さらにメインアーチを装着すると、ストップループが第2大臼歯のチューブに接しているため、メインアーチによって近心移動の力が前歯にも働き、前歯もアンカーとして参加する事になります。

つまり、犬歯が「3」の割合で遠心に移動するのに対して、5・6・7番は「1」の割合で近心移動すると考えます。

3. その結果、犬歯1本の遠心移動に対してその他の5本の歯全てが抵抗源として働くようになるのです。

～実際のアンカレッジコントロールによる犬歯の遠心移動～

前回のキャナインリトラクションのステージで、下顎の第1小臼歯を抜歯し犬歯をできるだけ遠心 後方に移動したい場合を下顎右側で説明します。実際の治療では、パワーチェーンだけでなくオープンコイルという金属のバネで犬歯の遠心移動を行ないました。第1大臼歯のチューブにストップループを当てて犬歯以外の歯をアンカーとして犬歯が充分に遠心移動出来るアンカレッジコントロールを行ないました。



矯正豆知識

舌苔（ぜつたい）

昔から「舌は全身の鏡」といわれており、全身状態の変化が舌に表れることはよくあります。そのひとつが舌苔で、舌面にある乳頭という細かい突起に、細菌や剥離細胞、粘液などが付着したもので、発熱や上部消化管に病気があると現れます。

舌苔は、その中に繁殖する細菌の量や種類、服用している薬などによって、黄色や褐色ときに黒色に色が変わります。舌苔の改善には、原因である熱を下げたり病気になるた消化管の治療がまず必要ですが、要介護の方などは、舌苔に真菌（カビ）が増殖して口臭を増悪させるので、原因の除去とこまめな口腔清掃が大切です。ただ、要介護の方にきざらず、舌ブラシなどで機械的に強く除去しようとするのは、痛みや粘膜を傷つける恐れがあるので注意が必要です。

ひるま矯正歯科より

▼7月28日（金）午後および29日（土）は、学会出席のため休診です。